

令和6年度 地区懇談会意見等まとめ

1. 地区懇談会での意見等

(1) 鳥海地区 (25 人) 11/12

	意見等	町コメント	備考
1	・ 災害が発生し避難所で生活することになった場合、段ボールベッドやプライバシー保護のためのテントが必要になると思うが、町ではどの程度整備されているのか。	(総務部長) ・ 総合保健福祉センター、一戸地区センター、小鳥谷地区センター、奥中山地区センターには整備済み。鳥海地区センターは未整備となっている。令和4年の8月の大雨で一戸地区センターに避難した方に、テントを使用してもらった。	
	・ 道の駅が完成したらどのような飲食店ができる予定なのか。お土産に関しても一戸をPRできる物を販売する必要があるかと思うが、今はそういった物は無いと思う。今後、開発していく予定はあるか。	(産業部長) ・ 現在、すぐにも道の駅で販売できるような物もあるが、新しい物を開発することは必要だと考えている。現在は事業者に対して、町をPRする商品を開発するための支援金制度があり、数件活用していただいている。また、飲食店でこういったものを提供できるかはとても重要と考えている。地元にも対応できる事業者はいるので協議を進めたいと思う。地元の事業者が潤うような形をとりたいと考えている。	
	・ 空き家バンクについて、一戸町のホームページに掲載されているか。	(地域整備課長) ・ 掲載されている。	
2	・ 能登の災害の際に、自分が所有している農業用のハウスに避難した家族がいた。しかし行政が無理矢理、その家族を避難所に連れて行ったとの報道を見た記憶がある。もし一戸で同じような事例があった場合、どのような対応をとるのか。	(総務部長) ・ 確か私が記憶しているのは、ハウスで暮らすのがだめというわけではなく、冬場ということもあり、快適に暮らしてもらうために避難所への入所を促したと記憶している。行政が強制したものではない。一戸町としてもそういった避難を禁止するものではない。	

	避難所に入らなければ物資を与えないというような、ニュースの報道もあったと思うが。	(総務部長) - 避難所に入らなければ支援物資をあげないということでは無かったと思う。支援物資については基本的に、避難所まで取りに来ていただく形になる。能登の場合はそういった対応が行政側でできなかったのではと予想する。 (町長) - 能登の場合は元旦で行政職員が集まることができず、物資の支給が遅れたということも聞いている。また、避難所に行く途中に被災する可能性もあるため、自主防災組織等による共助に頼る部分は出てくるだろうと思う。	
3	高齢者で1人暮らしの方が多い。資料の中の事例で民生委員の方々が災害発生時に支援する担当を決めていたとある。非常にいい事例だと思うが、実際に災害が発生した場合、個別に家を訪問するところまで民生委員の役割になるのか。	(福祉部長) 基本的には「どこにどんな人が住んでいるか」情報提供をしていただきたい。災害発生時に救助作業等行うことは2次被害につながる恐れがあり危険である。情報提供だけでも非常に助かる。	
4	小友の基盤整備のあと2、3年経ってから田んぼの水はけが悪くなったが、事業を活用し解消できた。感謝している。		
	集落内にある一部の農地について、草が生い茂りすごく目立っている。放っておけば木が生えて林になる。こういった農地を地域で解消するような事業は無いかな。もしあれば自治公民館長を通して教えてほしい。	(産業部長) 担当課に伝え、確認したいと思う。	
	町道の側溝に蓋が無く、冬になると車が頻繁に落ちる。できれば蓋を掛けてほしい。	(地域整備課長) 現地の方確認させていただき、検討する。	
5	人口減少について、町としてはどのような点が課題だと捉えているか。どのような取り組みをしようとしているか伺いたい。	(政策企画部長) 町としては2月に人口減少対策本部立ち上げたところ。町が取り組む施策というのは最終的にはどれも人口減少対策に結びつくもの	

		となっているが、今年度重点的に取り組んでいるのは、住環境の整備と奨学金の免除の2つ。いずれも一戸に戻ってくる人のための環境を整備するものである。	
	・ 人が集まれば賑わいが生まれIターンやUターンに結びつき定住につながると思うが。賑わいのある町づくりに向け、町としてはどう取り組む予定か。	(町長) ・ 例えば新卒で一戸の企業に就職したとしても、一戸に住むところ(アパートや社宅)が無い。あったとしても若い人が住みたいと思う住環境が一戸には無い。そのため二戸から通う等のケースが多い。そういった方々に一戸に住んでもらうために住環境の整備に着目した。また奨学金については、一戸の企業に就職したら免除にするなどの取り組みをしたいと思っている。	

(2) 小鳥谷地区 (21 人) 11/13

	意見等	町コメント	備考
1	災害が発生したら避難しろというが、避難所に指定されている小鳥谷中学校は本当に安全なのか。ハザードマップをみると浸水区域になっている。新聞では避難するとき 1 人一坪の面積が必要と書いてあった。十分な面積を確保できるのか。	(総務部長) 町が指定した避難所は 37 箇所あり、一戸町の全人口がそこに避難することを考えると計算上は入ることができる。しかしコロナ等、感染症があった時は 1 人 4 平米確保しなければならないなど様々なケースがあり、実際には厳しい。よって地域の公民館や集会所も活用してもらう必要がある。小鳥谷中学校については耐震基準を満たしているが、災害の規模によっては避難所自体が被災する可能性もあり得る。高齢者の方で介護のケア等必要な方々については、福祉施設との避難所の協定も結んでいるので、そちらに避難してもらう形になる。	
	地震より水害が不安。現在、避難所になっている建物は浸水区域に指定されている場所が多いうえ、老朽化が進んでいる。避難所の見直しをしていただきたい。	(総務部長) 見直しについては検討させていただきたい。	
	防災無線の音量が大きすぎる。(一方でちょうど良いという意見もあった)		
2	空き家バンクが始まったということだが、地域の空き家の取引が、どこまで進んでいるのか等、役場に問い合わせたら教えていただける情報はあるのか。個人情報のため限度があると思うが、そのあたりが分かれば地域としてサポートできるかもしれない。	(地域整備課) 基本的には所有者に対して管理を促していく。お問い合わせいただければお答えできる範囲でお答えする。	
3	自主防災組織について、高屋敷では早い段階で設立したが、メンバーの高齢化等が原因で活動できていない。	(総務部長) 既に組織がある他の地区からも同じような話は聞いている。他の地区で実施した訓練の事例を紹介し、活動の参考にしてもらっている。	

	数年前、大雨で国道4号が冠水し通行できなくなった。その際、大釜野から高屋敷につながる道路を通り迂回する人がいた。普段は交通量は少ない路線だが、地域で草刈り等を行い管理していたため、通ることができた。町に草刈りの要望をしてもまだ動く気配はない。今後も管理は地域で行わなければいけないのか。	(地域整備課長) 町道、農道は町が管理するものだが、作業員の手が回っていない。平糠地区では補助金を活用してもらい地域で草刈り作業を行っていただいている。そちらの活用も検討いただきたい。	
	自主防災組織の設立を促すのであれば、町で防災の有識者を雇う考えはないか。	(総務部長) 有識者の協力は必要と考えている。現在検討中である。	
	空き家調査の結果は、調査に協力した町内会長へ共有されるものか。	(地域整備課) ご協力いただいた結果をもとに、現地調査等を予定している。その後、共有させていただきたい。	
4	電波の無いところで災害関係の情報を得ることはできない。整備してほしい。	(総務部長) 戸別受信機も携帯の電波がない場所では使えない。そういった場所を補うため防災無線の整備を行ったところ。	
5	(情報共有) 平糠地区に防災組織はないが、振興会で要介護者を把握し災害時に助け合えるような体制を作っている。避難所についても各地区の集会所の活用も検討している。	(福祉部長) 自主防災組織という形をとらずとも地域で、共助の体制をつくり、情報共有をしてもらえるとありがたい。	
6	教育長から姉帯城の御城印を書いてもらい、地域のPRにととても良いなと思っている。姉帯城社を県の指定に向け動いてもらいたい。	(教育部長) 土地所有者の承諾を得てからの県指定ということになる。現在は所有者を調査しているところ。それぞれ事情を説明して進めたいと思っている。	
7	町道野中裏小路線について。整備した後分筆されず、公図上は宅地となっている土地を道路が通っている。町で予算をつけて分筆まで行ってほしい。	(地域整備課長) 町内には同じような事例がいくつもあるため、順番に対応させていただきたい。	

8	7の話は町道に限った話ではない。県の事業で整備している林道朴館線について、自分の畑に1町歩ほど用地が掛かっているが分筆登記はできないと言われた。課税にはならないように処理すると言われたが未だに課税になっている。所有者によっては「ここの道路は通さない」という人もいるかもしれない。分筆登記までやってもらわないと7のような問題が起こる。併せて林道朴館線について事業の進捗が悪い。もう少し県に働きかけを行ってほしい。	(町長) 早めに地域整備課と協議し順次対応したい。	
9	小鳥谷小学校の閉校後の活用について、ワークショップを立ち上げ協議をしているが、良い形で活用方法が見つかるかと思っている。町にもご協力いただきたい。	(学校教育課長) 今後、具体的な案がワークショップで出されることになるかと思う。その内容について打合せさせていただき、行政で支援できる部分があれば支援したいと思っている。	
	子ども達は4月から南小学校に通うことになるが、心のケアを行う体制はどうなっているか。	(学校教育課長) 中学生であればスクールカウンセラーが決められた日数配置されることになる。小学生であればその都度のケアとなり、指導主事や教育指導の班で、随時対応させていただく。	
	南小学校に統合後も藤島のフジや朴館家住宅に関する活動は継続する方針なのか。	(学校教育課長) 統合後も活動は継続することとしている。	
	公衆用道路の側溝の整備をお願いしたい。	(町長) 場所について確認し、担当課と協議したいと思う。	
10	小鳥谷駅のトイレの改修について、早急に対応していただき感謝している。		
	朴館家住宅の保存改修工事の件について。その分の予算を若い人に使ってほしいとの意見を聞いた。これから改修事業を進めるにあたり、若い人を取り込みながら進めていってほしいと思う。	(教育部長) 朴館家住宅の保存改修工事については7年かけて進めていく計画となっている。多額の事業費を要することについては様々な意見があるこ	

		とは承知している。しかし国指定の文化財を未来に残していくためにはそれなりの費用が掛かってしまう。これから皆さんの理解を得ながら事業を進めていきたいと思っている。 (町長) ・ 町としても国指定の文化財を潰すわけにはいかないと思っている。若い人達がどういう所に関心を持っているのか知りたいと思っているので、そういった話を聞いた際には伝えていただければありがたい。	
--	--	--	--

(3) 奥中山地区 (27 人) 11/14

	意見等	町コメント	備考
1	窓を閉め切っていると、防災無線が聞こえない時がある。放送した内容を確認したい場合はどうすれば良いか。例えば電話で問い合わせると自動音声で回答するような仕組みがあれば便利だと思うが。	(町長) 町の公式 LINE は放送内容が文字で通知される。また戸別受信機の貸出も行っている。それが難しければ電話でお問い合わせいただくことになる。自動音声での回答は検討していない。	
2	道の駅整備事業は新たなスタートを切ったとのことだが、これまで様々な委員会で協議した内容を白紙に戻し、新たな委員会を設置しゼロから協議していくということか。	(町長) これまで協議してきた内容は活かして進めていく。	
3	近年、大雨による洪水被害が各地で発生しているところだが、町内の地区ごとに様々な雨量を想定して、どれくらいの水量が出るのかシュミレーションを行い、ハザードマップと突き合わせてみたらどうなるかという資料があったら良いと思った。	(町長) - 今はそこまでの想定はしていない。雨の場合はある程度、天気予報等で予測することができる。避難指示等出た場合には防災無線でお知らせするので、日頃から自助・共助の体制作りをしていただき、早めの避難をしてもらいたい。 (総務部長) - 防災マップの見直しには、国や県との協議が必要となる。県からは次の更新は令和 8 年頃と聞いている。時間が掛かることについてご了承いただきたい。	
4	毎日、温泉を利用させてもらっている。去年は屋根の改修を行ってもらったが、センターハウスはまだ改修されていない。外観の改修をお願いしたい。	(町長) 1 度に全て改修することはできないため、計画的に改修したいと思っている。 (産業部長) - 宿泊棟と食堂の屋根・外壁・内装については改修予定。来年度は設計費について予算要求したい。今の形を大きく変えるということはないと思うので、今ある物をきれいにしていくという方針で進めていき	

		たい。	
5	奥中山診療所について。前の先生が引退されたが、今後はどうなる予定なのか。	(町長) 次のお医者さんを探しているところだが、中々見つからない。これからも継続して探さなければならないと思っている。	
6	4号線からスキー場に行く十字路の反対側、上山農園に行く道路。車がジャンプする箇所がある。補修をお願いしたい。	(町長) 町道の補修については、地域整備課で改めて場所を確認し、対応について協議していきたいと思う。	
	奥中山小学校グラウンド下、みたけ養護学校とぶなの風の間の道路。経年劣化による隆起がひどい。車を家に入れる時に腹を擦るので、自分で砂利を敷いている人もいる。抜本的な解決をお願いしたいので、舗装工事を行ってほしい。以前役場に確認したところ、町所有の公衆用道路と言われた。		
	県道葛巻日影線の踏切について、拡幅をお願いしたい。IGRの職員が少ない人数で除雪作業を行っているので、スノーシェルターの設置も併せて要望してもらいたい。	(町長) IGRとの協議が必要となるため、時間がかかり掛かると思う。場所について具体的に再度教えてほしい。	
7	奥中山地区は現在小学校と中学校が1つずつあるが、5年後、10年後の児童の規模はどれくらいになると想定しているか。	(町長) 小鳥谷小学校は一戸南小学校に統合が決まった。今後の児童数については出生数から予測することはできる。具体的な資料は今日持ち合わせていない。個人的な考えとしては、奥中山地区については急激に児童の数が減ることはないと思っている。最終的に、小中学校は町中に1つ、奥中山地区に1つという形になるかなと思う。	

(4) 一戸地区 (54 人) 11/18

	意見等	町コメント	備考
1	東日本大震災の際に、食料の確保もままならない状態になった。町では食料の備蓄はしているのか。	(町長) - ある程度はしている。最近、ジョイスさんと災害時の食糧確保のための協定を結んだ。災害時は支援していただけるだろう。ただ、全町民に満遍なくというのは難しいので、日頃から少しでも備蓄をしながら生活することを心がけてほしい。 (総務部長) - 町では、水だけで食べることができるアルファ米等を 1,500 食ほど備蓄している。水は 2L のペットボトル 200 箱。その他毛布やおむつ等備蓄している。	
2	自分は中田地区に住んでいる。2 年前の大雨で馬淵川が氾濫した。数年に 1 回は馬淵川の砂利を撤去してもらいたい。	(町長) 河道掘削については、2 年前の大雨の後、1 度行っている。今年度も実施予定。中田地区については護岸のかさ上げ事業も実施予定。関屋地区については岩根橋を県の改修事業で架け直す予定もある。	
3	農道上野線整備事業について、国道 4 号線への取付道路を要望していただきたい。	(町長) 県の事業で整備する道路だが、なかなか進まない状況。今おっしゃっていただいたことは要望はするがこの場で実現できるかどうかは回答できない。	
4	自主防災組織について。組織する範囲はどの程度のものなのか。町内会単位なのか。	(総務部長) 現在組織しているのはほとんどが町内会の単位。	
5	道の駅が実現した際、シャトレーゼ（元パントーネ）さんから商品を出してもらえないものか。	(産業部長) 声がけはしてみたいと思っている。	
	シャトレーゼさんの建物について、老朽化が進んでいるようだが、町で改修費の補助を出したりすることは想定している	(産業部長) 県の補助事業でそういったメニューがあったと思う。周知してお	

	か。	きたい。	
6	これから道の駅の整備事業が始まるということだが、例えば渋民の道の駅では高校生や大学生がメニュー開発を行う等の取り組みをしている。一戸町としてはどの程度住民を巻き込んで、道の駅事業を進める予定なのか。	(町長) - 町民を巻き込んだ形で進めたいと思っている。北桜高校さんには是非協力していただきたい。お土産品については、開発していただく方を募集して進めたいと思っている。 (産業部長) - 何を売るかはとても大事。現在は新商品開発を促すための事業に力を入れている。事業者以外でも取り組んでみたい方は商工観光課にお声がけいただきたい。	
7	若い方が一戸に残るきっかけ作りとして、産業まつりで飲食だけではなく町内事業者をPRしてみてはどうか。	(産業部長) 現在は、北桜高校の生徒に対してリーフレットを配布等行い、地元企業を知ってもらうような取り組みをしている。また三者面談など親御さんが来るような場でそういったコーナーを作り周知している。	
8	高校生が空き家対策を発表して表彰されたと記憶しているが、今後、町での空き家対策とどのような関わりを持って行くのか教えてほしい。	(地域整備課) - 北桜高校の2年生が授業の一環として取り組んでいることが、明海大学が主催するコンテストで表彰された。町としても関わりは持ちたいと思っているがまだ進めることができていない。 (町長) - まだ町の空き家対策に高校生の案を取り入れてはいない。現在、研究中ということもあり最終的な発表を聞いてから、取り入れていく等できれば良いと思う。	
9	閉校になった学校の利活用について。例えば校庭をキャンプ場にするなどして、観光施設にしたらどうか。	(町長) 来年の4月で鳥海小学校と小鳥谷小学校が閉校になる。その後の校舎の活用については、地域の方々と協議をして方向性を決めているところ。地域の方々の思いを第一に決めたい。	

10	火葬場の案内看板を立ててほしい。国道4号線姉帯口交差点に看板があればわかりやすい。	(町長) 既に国交省に要望済み。国道4号線姉帯口交差点の案内表示の柱に取り付けても良いと許可をいただいた。現在デザインを考えているところ。	
11	火葬場までの道路が見通しが悪い。4号線から姉帯方面に向かう道路。	(町長) 県道なので、もし拡幅等できるのであれば協議して進めたい。	
12	根反の珪化木にトイレを設置してほしい。一応、約30年前に役場でやると言っていた。	(町長) 今後、検討させていただく。	

2. 懇談会後寄せられた意見等

(1) 防災について

	内容	備考
1	・ 岩館地区では水利組合の休止により水稻の作付けが無くなった。そのため水路・堰等の土上げ清掃をしなくなった。少数の方は自身の土地に隣接している水路等の清掃をしているが、雨水の排水に支障が出てくると思われる。また、畦ぬり等の作業が無くなったため自然ダムと呼ばれる水田での水ためができなくなり、大雨時には新たな水害が起きる可能性があると思う。新たな災害のリスクを減らすためにも、地域住民で農道・水路の保全もしていかなければならないと思う。	一戸地区 50代
2	・ 1人暮らしのため、戸別受信機を借りたい。	諏訪野地区 70代
3	・ 少しずつでも主要道路の電線の地中化が必要ではないでしょうか。	中田地区 70代
4	・ 地元の自主防災組織があるが活動が少ない。	鳥海地区 70代
5	・ 防災訓練を地域みんなでやってみることで、命を守る良い勉強になると思います。	中里地区 60代
6	・ 災害時、異常時にて地域の避難場所等が具体的に構築されていない。	出ル町地区 60代
7	・ 年配の方が多く、携帯電話を持っていない人が多い。大雨など避難しようとしても動けない方もいると思う。近所で声を掛け合うと思いますが、サイレンなど聞こえるようにしてほしい。	中里地区 50代
8	・ 地域と行政が一体となった、防災訓練が必要ではないか。	小友地区 50代
9	・ 自助から始まる適切な行動が生死を分ける事と認識しておくべきだと思いました。防災意識を保つことが大切だと知りました。	中里地区 60代
10	・ 自分の身は自分でという気持ちで日頃から周りの人と交流を密に。	子守・漆畑 70代

11	・ 局地的豪雨災害への対応として、公衆用道路の側溝整備を早急に対応してもらいたい。	小鳥谷地区 60代
12	・ わかりやすいお話でした。防災に関しては、近隣とのつながりがとても大事になることが見えてきました。町での取り組みを知り、できそうなことから自分たちでも考えていけたらなと思いました。	鳥越・中野 野月地区 40代
13	・ どこに避難するのか。地域住民の8割くらいは60歳以上です。誰が指示するのか。	小鳥谷地区 60代
14	・ 避難所に災害種別による適否を示しておいてほしい。洪水はOKだが地震はダメとか。 ・ 避難所も老朽化が進んでいる所もあるので定期的な見直しを（旧小鳥谷中体育館は屋根が傷んでいるようだが…）	穴久保地区 70代
15	・ 戸別受信機があるのはとてもいいなと思った。ただそれが町民にどれだけ知られているのかは疑問に思った。団体設立に関しては、浸透率の低さなどから推し進められれば良いなと思う。設立するメリットをより具体的に説明してもらえるといいなと思う。	奥中山地区 20代
16	・ 当方気象予報士及び防災士の有資格者ですので、既知の情報の確認をさせていただきました。R4年の大雨ではひまわり団地内の家の前の道路が川になり、浸水寸前でしたがその後の対策が後回しになっている感があり少し心配しています。陳情済みの道路の舗装と併せて推進いただきたく思います。 ・ 気象予報士、防災士として行政に何らかの力になりたいとも考えています。何かありましたら連絡いただけるとありがたいです。（本文にはメールアドレス記載）	奥中山地区 60代
17	・ 戸別受信機を奥中山地区センターの職員が、介護予防教室で詳しく説明していた。申請も手伝っていた。直接、高齢者に話をする事で、受信機の事を知り、必要としてもらうのが大事だと思う。	奥中山地区 70代

(2) 道の駅整備事業について

	内容	備考
1	・ 以前関屋にあった市場のように、年間 2,000 円くらいで会員となり農産物生産者が、出荷・販売等をできるようなシステムを作れば、道の駅でも農産物を販売しやすくなると思う。	一戸地区 50 代
2	・ 早めにしてできる事を願っています。	諏訪野地区 70 代
3	・ 場所が決まったのであればどんどん進めてほしい。御所野に近いところであれば理想です。	鳥海地区 70 代
4	・ 道の駅が一戸にできることはうれしいことです。御所野を PR する商品など楽しみにしています。	中里地区 60 代
5	・ 他市町村と比較すると遅れているように見える。	出ル町地区 60 代
6	・ 皆が心待ちにしている道の駅なので一日も早く出来ることを望みます。リピーターが多い道の駅にするには何が必要なのか、1 つでもメインとなるものが有れば、集客につながると思います。	中里地区 60 代
7	・ 小さく中身を濃く	子守・漆畑 70 代
8	・ 産直店舗として、サラダボウルと競合となる。農作物の販売量は対応出来るのか。	小鳥谷地区 60 代
9	・ 早く少しでも形が見えてくるといいなと思います。道の駅に期待している人も多いと思いますし、産直などに来店できるような人達が高齢になりすぎて出来なくなる前に若者と一緒に盛り上げていってもらえたらいいなと思います。	鳥越・中野 野月地区 40 代
10	・ 道の駅が出来るのがとても楽しみです。長く発展、賑わっていくように、野菜、果物、加工品等いろいろあると思いますが、出店する人達も高齢化が進み、若い人達が続けてくれるのを期待しています。出来る前から水を差すような言い方になりますが、どこにいつでもあるもの、仕入れた物ばかりではなく、〇〇を買うなら一戸の道の駅といってもらえる物を販売してほしいです。	小鳥谷地区 70 代

11	・ 駐車場がかなり広くなりそうなことは理解はしましたが、トイレ、休憩所、売店、食堂の他に、独自の施設があればいいと思います。御所野関連以外にも、病院の近くであることの利用はできないのでしょうか。	穴久保地区 70 代
12	・ 道の駅設備に関して、様々な条件がある上でも、町に降りる人が増えることで大きな効果を見込めると思うので進めてほしいなと思う。中高生と接する機会が多いのだが、チャレンジ出来る場所が少ないのでそこを網羅してほしいなと思った。	奥中山地区 20 代
13	・ 道の駅の計画については全く情報が無かったので大変参考になりました。引き続き計画の進捗の情報提供をお願いします。	奥中山地区 60 代
14	・ 日本経済新聞で見つけた記事です。この様な全国展開の民間企業に協力してもらう事も大切だと思います。（ご意見用紙に新聞記事のコピーを添付していただいています。）	奥中山地区 70 代

(3) 空き家対策事業について

	内容	備考
1	・ パンフレットには空き家以外にも山林等の土地も、アキソルで対応しているようなので、近い将来に検討してみたいと思う。	一戸地区 50 代
2	・ 1 人暮らし増えてきている。施設に入所して地区に空き家が増えてきている。	諏訪野地区 70 代
3	・ 家主が分かっていたらいいが、どこに住んでいるのか分からない空き家は困ったものです。	鳥海地区 70 代
4	・ 相談に対応していただける所があるのは困っている人にとってありがたい事だと思います。	中里地区 60 代
5	・ 空き家等のゴミ屋敷化に近い状況は避けてほしいです。	出ル町地区 60 代
6	・ 周り近所に空き家が多く、他の人の活用も難しいと思う。リフォームするにもお金が掛かることであり、若い人でも大変だと思う。	中里地区 50 代
7	・ 空き家に関しては非常に興味を持っており、これから先ますます空き家は増える事、活用できる空き家ばかりではない方が多いのではと思います。解体費用等、一番のネックだと感じています。山林、田畑も同様と思います。	中里地区 60 代
8	・ 空き家バンクは大変良いと思う。子どもは自分の家を持ち、実家を出ていく。当然空き家は増えていく。何が何でも解体となれば金がない実情。	子守・漆畑 70 代
9	・ 対策事業の進捗状況の地元住民との情報共有 ・ 旧旅館業者の宿泊施設としての再生化 ・ 空き家を取得した方々への補助金援助（リフォーム）	小鳥谷地区 60 代
10	・ 知らなかった。町の取り組みが聞けて参加して良かったです。	鳥越・中野 野月地区 40 代

11	・ 先日空き家調査がありましたが、所有者だけでなく管理者についても把握しておいてほしいと思います。一人暮らしの所有者が高齢になり、施設入所などで不在となった場合、所有者にかわる管理者が必要になると思うが、必ずしも町内在住とは限らないので「管理者」まず確認しておいてほしい。	穴久保地区 70 代
12	・ 町として空き家をどうしたいのかを明確に出来ると方向性が見えてくるのではないかと考えた。人口減少により空き家自体が増えてくる事は容易に予測できる。だからこそ手間を掛けずにバンク登録が出来るなどの仕組み化が大事かと思った。空き家はたくさんあるが「場所がない」という声が聞こえるので、ニーズに合わせて考えていくのもいいのではないかと考えた。	奥中山地区 20 代
13	・ 周辺にも空き家が目立つ中、当方も転居の際、空き家物件の検索に苦労した経験があり、参考になりました。まだ町内の認知度は低いと思われますので、さらなる PR をお願いします。	奥中山地区 60 代

(4) その他

	内容	備考
1	・ 4 号線バイパス。根反線の入り口から小鳥谷方面に 20m 位の所に、バイパスをまたいで青い橋が有るが、誰の所有になっているか知りたい。	子守・漆畑 70 代
2	・ 教育について、小規模校だからこその価値を見出していく方針に共感した。ただ必ずデメリットや課題も出て来ると思うので、広い範囲（別の地区や周辺自治体と連携など）で捉えていくことが重要かと感じた。少子高齢化、人口減少が課題になる中、1 つの解決のヒントとなりうる、関係人口や移住の取り組みについて、機会があれば聞きたいです。	奥中山地区 20 代
3	・ 宇別小学校のプール脇にある花壇付近の側溝に蓋を付けてほしい。20 枚くらい。（写真あり）	宇別地区 50 代
4	・ 家向に立っている防災無線の位置が道路に近く、除雪の時邪魔になるのではと言われた。（写真あり）	宇別地区 50 代